

プロジェクトマネージャ 解答例**【午 後 I】****問 1 生成 AI を活用したシステムの開発・導入・運用・保守を行うプロジェクトの計画立案（配点 50 点）****設問 1（5 点）**

生徒の理解度を高める効果

設問 2（26 点：(1)7 点, (2)5 点, (3)7 点, (4)7 点）

- (1) SaaS 導入プロジェクトの計画に作業の違いを修整して計画を作成する。
- (2) 学習データの正確性を担保すること
- (3) 正確性・多様性・網羅性が担保された新たな学習データを用意すること
- (4) 生成 AI の導入は時期尚早という意見をもつ一部役員の懸念を払拭すること

設問 3（19 点：(1)7 点, (2)7 点, (3)5 点）

- (1) 最新の入試問題に対応する問題に対しても補足情報を生成すること
- (2) 毎回講師が補足情報を追加して採点を確定しているから
- (3) 今のやり方に固執し補足情報を自分で作成するから

問 2 製薬会社における CRM 刷新プロジェクト（配点 50 点）**設問 1（19 点：(1)5 点, (2)7 点, (3)7 点）**

- (1) 本プロジェクトへの影響度が最も高いから
- (2) 標準機能のカスタマイズがないと営業活動の柔軟さ、俊敏さが損なわれるという懸念解消のため
- (3) 新 CRM の導入後に、W 社の開発・保守のビジネスが継続すること

設問 2（31 点：(1)6 点, (2)7 点, (3)6 点, (4)6 点, (5)6 点）

- (1) 新 CRM の利用方法に関する営業管理部への問合せの削減
- (2) ワークショップで V 社から標準機能をそのまま説明することのないよう事前に準備する。
- (3) 要件定義が紛糾して進捗が遅延するリスク
- (4) 教育マニュアルの作成が遅れないようにすること
- (5) 新 CRM へのデータ移行に W 社の協力を得ること

問 3 プロジェクト実施中の計画変更（配点 50 点）**設問 1（12 点：(1)6 点, (2)6 点）**

- (1) 規制緩和対応による顧客価値創出の定量的な効果の提示
- (2) 顧客価値の創出を考えられる組織風土を醸成する役割

設問 2（13 点：(1)7 点, (2)6 点）

- (1) C 部長から規制緩和への対応を含む計画変更の了承を得ること
- (2) 業務部門とシステム部の責任者同士で責任分担に合意すること

この解答例の著作権は TAC(株) のものであり、無断転載・転用を禁じます。

設問 3 (25 点:(1)6 点, (2)6 点, (3)7 点, (4)6 点)

- (1) 先行開発部分に手戻りが発生するリスク
- (2) 想定以上の生産性の低下による遅延リスク
- (3) バッファを各タスクに持たせずにフェーズ単位でまとめて設定する。
- (4) 規制緩和への対応部分のリリース時期を延期する。

以上